



京都国立近代美術館

# 友の会ニュース

2008 MAY NO. 1

京都国立近代美術館「友の会」は、一層の充実をめざして生まれ変わります。

5月11日の「春の見学バスツアー」には、多数の方々のご参加をいただきありがとうございました。これに弾みをつけて、今年度から「友の会」行事は、展覧会に連動した様々の企画をすすめて参ります。そして、これまで発行してきました「友の会会報」も衣替えし、2か月ごとに最新の情報を皆様方にお届けいたします。さらに今後は、「友の会」皆様のご意見なども掲載させていただけるようにもいたします。まだ手探りの状態で、以前の「会報」と比べても見栄えのするお便りではありませんが、まずは魅力的な行事を企画し、一人でも多くの会員の方々にご参加いただけるような会にしたいと思っておりますので、どうぞこれまで以上にご支援よろしくお願い申し上げます。

◎5月20日から、皆様もよくご存知の「印象派の巨匠 ルノワール」について、印象派の殿堂・オルセー美術館が監修してパリでも大きな反響を呼んだ展覧会「ルノワール+ルノワール展」を開催いたします。この「+」とは、画家ルノワールと、彼の息子で映画監督としてその名を知られたジャン・ルノワールの「二人展」を意味し、父「ピエール＝オーギュスト・ルノワール」の絵画の代表作と、息子「ジャン・ルノワール」の映画作品とを対比させ、まったく新たな視点からふたりの芸術を紹介する展覧会です。



左) ピエール＝オーギュスト・ルノワール 《田舎のダンス》(部分) 1882-83年

© Photo RMN/H. Lewandowski/digital file by DNPAC

右) ジャン・ルノワール 『ピクニック』 1936年

Paris, Collection Cinémathèque française, fonds Femis; D.R.

そして今回、「友の会」会員の方々のために、この展覧会について、本展覧会を担当する当館の牧口千夏研究員がわかりやすくお話しする「ガイド・ツアー」を開催いたします。この展覧会におきまして、当館でもはじめての試みとして、7月の会期中は、連日午後7時まで開館します。それに先立つ6月6日(金)午後6時から、友の会会員の皆様限定の「ガイド・ツアー」を行います。ご希望の方は、6月3日(火)までに下記の当館担当者までご連絡下さい。なお、申し込み順に30名まで受付しますので、申し込みを済まされた方は、当日午後6時までに当館1階のロビーにお集まり下さい。本展2回目以降でご参加の方は、入館料が必要です。



◎さらに翌日6月7日(土)の午後6時から、京都市立芸術大学音楽学部と共催する恒例の「サマーナイトコンサート」を開催いたします。これも「ルノワール+ルノワール展」にちなんだ曲目が演奏されますが、詳細は同封のチラシをご覧ください。

◎加えて、今回お届けする新企画は、「友の会」会員の方々とともに展覧会をつくりあげようという、はじめての試みです。

来年は、京都新聞の創刊130年の記念の年にあたります。そして当館では、京都新聞社と共催して、平成21年5月26日(火)から7月5日(日)まで、「京都学 前衛都市・モダニズムの京都」展(仮称)を計画しています。近年「京都学」という言葉が盛んに使われ、カルチャー・センターや大学をはじめ、様々なところで講座が開かれ、興味を抱かれています。そして、この「京都学」をはじめて



て展覧会というかたちで紹介し、しかもこの展覧会が実現するまで、「友の会」の方々と講座を通してともに考え、展覧会ゆかりの場所をめぐりながら、開催の気運を盛り上げてゆこうとする試みです。こうしたかたちでの展覧会は、これまでまったくなかったのではないのでしょうか。

それでは、どんな展覧会になるのか気になる方々



も多いと思われませんが、まずは最初のオリエンテーションにご参加下さい。第1回オリエンテーションは、6月21日(土)午後2時から3時30分まで、当館1階の講堂で開催いたします。講師は、当館の山野英嗣主任研究員です。11時より、1階インフォメーションで整理券を配布します。

「京都学」展では、美術館の建つこの岡崎の地で1895年に開催された第4回内国勸業博覧会を導入として組み立ててゆきます。平安神宮、ワグネル記念碑・・・、詳しくはオリエンテーションで。

連絡先：

京都国立近代美術館 庶務課庶務係

Tel. 075-761-4111(代表)

(ご連絡は平日午前10時から午後5時まで)